

# 1・2・3

特別支援教育だより H30 No.1

～すべての子どもに、どのクラスでも～

「仲間とつながり合い、支え合う関係づくりを進め、  
安心感の中で、どの子にとってもやさしくて、わかる、できる学習を目指す」  
.....それが、吉田西小の特別支援教育です。

今回は、自信をはぐくむ「安心感」「わかりやすさ」について、見直してみま  
しょう。

## ○「安心感」を高める

- お子さんの持っている力を認める。
- 子ども同士の認め合い助け合う関係を育てる。
- 社会での生活におけるきまりを教える。

## ○「わかりやすさ」を高める

- 全体の見通しを伝える。
- 指示は短く、明確に伝える。
- 言葉だけでなく、視覚的な手がかりも添える。

### 学校での指導の工夫

• 学習活動や自分の回答に対して自信がなく不安感が強い児童に対して



本人のがんばりに目を向けて認めたり、発言の良さを他の児童へ伝えたりすることで自信がもてるようになった。

• 本時の学習の流れが分からず不安感が強い児童に対して



本時の授業の流れを授業のはじめに示すことで、見通しをもって学習に取り組むことができた。

• 教師の話を正しく聞き取ることが苦手な児童や、どうすればよいのかわからなくなってしまう児童に対して



学習のきまりを具体的に掲示物で示すことで、児童が学習のきまりを繰り返し確認できるようになり、落ち着いて授業に参加できた。

• たくさんの情報を整理することが難しい児童に対して



学習活動を短く区切ったり、学習のまとまりを色分けしたりすることで、わかりやすくなった。

「安心感」と「わかりやすさ」が高まるように心がけて支援することによって、少しずつ自信がつき、落ち着いて学習や生活ができるようになっていきます。そして、さらに、よりよい友達関係を築くことにもつながっていく大切な支援です。ご家庭でも、自信が育っていくような支援の工夫をしていきましょう。そして、お子さんの本来もっている力を最大限に発揮できるように見守りましょう。

○特別支援教育コーディネーター（発達、学習・行動面の困難などの相談）： 藤田裕子

○市学校教育サポートセンター・スクールカウンセラーコーディネーター

（心の問題、子育ての悩み、外部の相談機関等の利用）： 鈴木 薫

○いじめ・不適切な指導等担当： 教頭 橋本俊明 ， 辻 泰臣

※学校以外では、「下野市学校教育サポートセンター」0285-52-1140（直通）も利用できます。